

Flags

Vol.98 2013-07

『事業継続計画 「BCP」って何?』

東日本大震災による経済活動の大混乱の教訓から政府・自治体が中心となり「企業の生き残り対策」としてBCP(=事業継続計画)の積極的推進活動が始まり、その周知と導入が急速に広まっています。

今月号ではBCPの基礎知識と災害時に役立つ商品をご紹介します。

BCPとは・・・

2011年3月11日に未曾有の東日本大震災が発生してから2年以上の歳月が過ぎっていますが、東北地方を中心として多くの死傷者や市民生活に甚大な被害をもたらした大災害は、経済に対しても日本全国にその被害の裾野を広げていき、各所で被った大きなダメージは未だに完全復旧するまでには至っていません。

この様な大災害の教訓から、企業が万一緊急事態に遭遇しても、中核となる事業を早期に復旧し継続できるように計画を策定し対処するBCP(Business Continuity Plan=事業継続計画)の導入に関心が強まり普及が広がっています。

BCPは単に自社の企業活動を守り従業員の雇用を維持することのみならず、“当社はBCPを実行しており、災害時にも最低限の業務継続が可能な安心安全な企業”と公に宣言することで顧客や取引先からの信用を向上させ企業価値を高めるための備えになります。

中小企業庁、各地方自治体のホームページでもBCP導入企業として企業名や取り組み内容が全国に向けて紹介されています。

内閣府の中央防災会議では2015年までに全ての大企業と、中小零細企業の半数以上にBCPの導入目標を掲げています。

中小企業BCP策定運用指針H PでBCP取り組みの簡易診断が行えます。
http://www.chusho.meti.go.jp/BCP/contents/level_a/BCPgl_01_3.html

BCP導入の検討

いざ災害が起きた場合に、どのように従業員の安否確認や安全の確保をして、事業や業務をいかに早く復旧させるか、災害等が起きても被害を最小限に抑えるために何の対策を行うかなど、必要な事を認識している企業は多いと思いますが、実際にその考えを事業継続計画としてマニュアル化し、マニュアルに問題無いかを検討等している企業は実際あまり多くないのではないかと思います。

神奈川県が実施した県内のBCPを導入していない中小企業向けアンケート調査では、「BCP事態の意味や必要性を知らなかった。」という回答が一番多い結果となりました。(図1)

BCP導入の基本ステップ

基礎的なBCPの策定は「基本方針の立案」から始めて、5つのステップを踏んでいきます。



①基本方針の立案

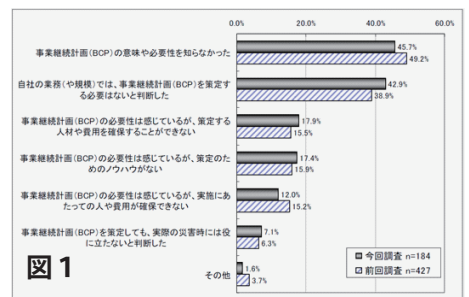
まず「何のためにBCPを策定するのか?」、「BCPを策定する事にどのような意味があるのか?」を検討し、基本方針を決めることから始まります。

企業全体であれば経営方針、事業単位であれば事業方針に値する根幹となる方針ですが、最初から理想を追



『キッズ安心メールシステム』

非接触ICカードマルチ端末カードリーダー(MTR-220)にICカードをかざすだけで、保護者の携帯電話など電子メールで情報を送信でき、安否確認が確実に行えるシステムです。お子様の登下校時の安心・安全をご提供しております。(写真は旧タイプMTR-200)



求しすぎると、実現は困難となとなり、かえって導入を躊躇する事になりかねないので、まずは実現可能なBCPから順次改善を積み重ねるのがコツのようです。

□従業員の安全 □経営維持 □顧客への供給責任 □雇用の確保 □地域経済の活力 □市場需要に応える など

②重要商品(サービス)の検討

災害時には限りある人員と資機材の範囲内で、事業を継続させ、基本方針で決めた目的を実現しなければなりません。災害時の制限された環境下で最も優先的に製造や販売しなければならない製品やサービスをつつあらかじめ取り決めておく必要があります。

逆に言うと、自社の製品やサービスの供給が停止する事で、自社の売上げで一番大きな影響があるものや顧客への影響が大きなものを決めておきます。

③被害状況の確認

災害により自身の会社が受ける影響をイメージしておく必要があります。

BCPを支援している地方自治体の一例

BCP作成事例集
～企業の事業継続力向上～

BCPを作って信頼を高めよう
東京商工合同庁長官 東京商工BCP策定ガイド

静岡県事業継続計画モデルプラン

例えば、大規模地震(震度5弱以上)が発生した場合に、ライフライン、情報通信、交通などの「インフラへの影響」や、人、モノ、情報、金などの「自社への影響」など想定される影響をイメージを明確にしておく必要があります。

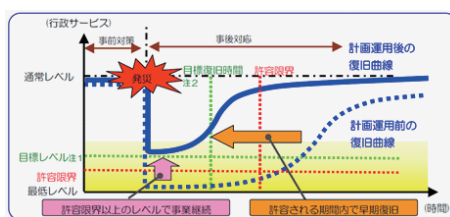
④事前対策の実施

災害による自身の会社への影響がイメージできたら、そうした状況下でも重要商品を提供し続けるために必要な経営資源を確保するための検討を平常時から実施しておくことが重要です。

被害状況によっては通常の調達が難しくなる場合の代替方法も考慮が必要です。

⑤緊急時の体制の整備

最後に、これまでで取り決めた事業継続のために適切な行動がとれるように、緊急時の対応毎に責任者を整理しておきます。初動対応、復旧のための活動など、様々な活動がありますが、最低限、全社の対応に関する指揮命令を行う統括責任者を決めて、意思決定項目を決めておく、統括責任者の災害時の行動チェックリストとして活用できます。



BCPの目標

BCPのマニュアルを作成するときには、事業継続するための「物理的な許容限界」と「時間的な許容限界」を算出して、各許容限界を超えて事業の継続が困難にならないように、許容限界以上の目標を設定して作成することが必要です。

サバイバル電源の確保

弊社ではBCPの一環として、フォークリフトのバッテリーを一般電源に変換する「フォークリフトバッテリーパワーインジェクター(=FBPI)」の販売を開始しました。

FBPIの特徴は災害時の薄暗く、混乱の中でも簡単にフォークリフトのバッテリーと接続し家庭用電源として代用

することができます。装置自体には内蔵電池を搭載していないので、いざという時に電池の寿命で使えないということはありません。

帰宅困難者への生活物資の確保

2013年4月から東京都の条例で、事業者は帰宅困難者対策の一環として従業員向けの3日分の水、食料の備蓄の通達がありました。いざ用意しようとなると、一人3日分が必要とする量は？一般的にどんなもの？賞味期限は？など頭を悩ませます。

弊社では10人が3日分必要とする防災備蓄セットをご用意しております。50,000円から3タイプ用意しておりますので、必要とする備蓄セットを選べます。

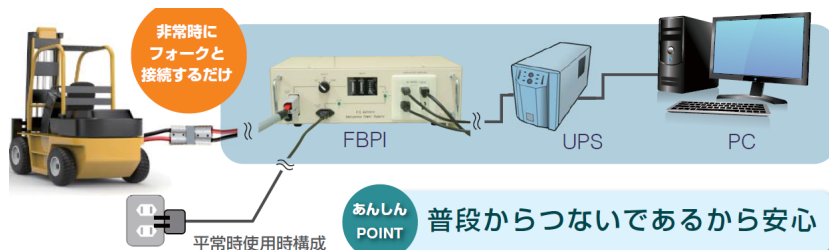
東京都は帰宅困難者対策を総合的に推進するための条例を制定しました。

東京都帰宅困難者対策条例の概要

都民の皆さん、大規模災害発生時に、むやみに移動を開始しないでください
事業者の方は、従業員向けの3日分の水、食料等の備蓄をするようにしてください

条例は、平成25年4月から施行します。

弊社は、企業活動のサバイバルを支援する製品も数多く取り揃えお客様のご満足にお応えいたしますので、お気軽に当社営業担当までご相談ください。



1. 従業員向け 災害対策備蓄品 Aセット50,000円<税込・送料込>



●災害対策備蓄品 Aセット
(3日間・10名様想定)
＜内容＞
・アルファ米50食
・生命のいのちの缶48缶
・飲料水2L・30本
・備前・仕分け袋
※アルファ米、いのちの缶は、1食毎30秒待つ時間を要するためお返しさせていただきます。

●アルファ米(スプーン付)
各100g
5食分(1人・1食)×48食
ドライカレー・チキンライス
※備前は、4食分(4食)×48食

●生命のいのちの缶
各100g
オレオ・チョコ・バナナ・ココア・ホワイトチョコ
※備前は、5食分(5食)×48食

●5年保存飲料水 2L
ペットボトル

『国際モダンホスピタルショウ2013』への出展のご案内

7月17日(水)～19日(金)までの3日間で『国際モダンホスピタルショウ2013』が東京ビッグサイトにて開催されます。

今年は、出張健診向けに小型、軽量化した『健診ステーションポータブル』をはじめ、医療関連でご活用いただける各種自動認識機システムを出展します。

また、医療用医薬品の新バーコード表示で誤ったバーコードが市場に流通するのを防ぐ「GS1-チェッカー」他、二次元シンボル・バーコードの応用ソリューションも出展させていただきます。

■展示会概要

開催案内 国際モダンホスピタルショウ2013

会期:平成25年7月17日(水)～19日(金) 10:00～17:00

会場:東京ビッグサイト 当社ブース番号:東6ホール F-110



次号予告

2013年8月号は・・・

「現場の声で進化した作業実績収集システム『WMステーション for NFC』」をご紹介します。

Flags 8月号は 8月 8日発行です。

都合により内容が変更になる場合がありますので、予めご了承下さい。
バックナンバーは当社ホームページに掲載しております。

Flags/フラグス

2013年7月号 Vol.98 2013年7月8日発行

編集・発行 株式会社マーストークンソリューション

編集事務局:03(3352)8545

本誌に掲載の記事・写真・図版などは著作権法によって保護されており、無断で転用・転載・複製することはできません。

営業三部

東京都新宿区新宿1-8-5

新宿御苑室町ビル

Tel:03(3352)8522

Fax:03(3352)8579

Tel:052(565)9091

Fax:052(565)9094

Tel:06(6353)5476

Fax:06(6353)6125

Tel:092(441)3638

Fax:092(441)3639

Tel:029(276)9555

Fax:029(276)9556

名古屋営業所

大阪営業所

福岡営業所

日立営業所

MTS 株式会社マーストークンソリューション

http://www.mars-tohken.co.jp